

戦後80年 平和への祈り

第23回パーシモンほたる祭り ユネスコの千羽鶴

日時:2025年7月13日 会場:パーシモンホール大ホール 主催:都立大商店街連合会

かつて呑川(のみがわ)には、その名の通り飲料にもなるような清流が流れ、夏には蛍が舞い飛ぶ風物詩があった。2003年、都立大商店街連合会の大人たちが立ち上がり、昔の情景を今の子供たちにも見せてあげたいとの思いから、協力者を広げ、「地域で子どもを育む」をメインテーマに、2009年から毎年、目黒区民キャンパス全体を使ったパーシモンほたる祭りが開催されるようになった。地域の商店街からの出店や屋台、ゲームなどは大人も子供も楽しめる一大イベントだ。



目黒ユネスコ協会では、倉田 茂氏、望月 昇氏他が「ユネスコの平和を願う活動」を、区民にも知ってほしいと積極的に活動に協力。ユネスコ・ブースでは、前年の平和特派員の青年に倣い、お祭りに参加していた大勢の子供たちが、たくさんの折り鶴を折ってくれた。お礼にもらったウクライナからのミサガヤ、くるりんぱカードに子供たちは目を輝かせていた。子供たちの千羽鶴は、平和の特派員の手によって、今年も広島記念公園内「原爆の子の像」へ届けられた。 広報委員会 白岩葉子

追記: 広島の「平和の鐘」は、人間国宝の 故 香取正彦氏(目黒区の名誉区民・当協会会員)の作品。1985年目黒区は、平和都市宣言「核開発廃絶や戦争のない世界をめざす」を表明した。香取氏はその記念として、区に梵鐘を寄贈した。「めぐろ平和の鐘」と命名された。

戦後80年 平和への祈り 平和祈念のつどいに参加して

日時:2025年8月6日(水)9:50~ 会場:目黒区民センターホール 主催:目黒区

戦後80年の節目を迎えるこの夏の「平和祈念のつどい」は、平和都市宣言朗読と黙禱から始まった。小中学生による「平和記念の標語」発表と、前年度「平和の特派員」の中学生による体験報告(写真左)は、ともすれば当たり前と受け止めているこの日常に対して、平和の大切さを純粋に鋭く訴えかけるものであった。「平和の鐘」を打つために並ぶ人々の列、その中での子供たちの姿は印象的であった(写真中央)。目黒ユネスコ協会では、平和を希求する活動の一環として、ほたる祭りなどのイベントの機会に折り鶴活動を行っており、その鶴は今年も平和の特派員によって広島平和記念公園の「原爆の子の像」の元へと届けられた(写真右)。 広報委員会 鈴木 やよい



目次	
ほたる祭り・平和祈念/1P	
8月15日に想う/2P	
交流サロン★七夕/2P	
気仙沼観光復興ツアー/3P	
為季前会長囲む会/3P	
お知らせ/4P	

戦後80年平和への祈り 8月15日に想う 寄稿文



今日8月15日は終戦から80年、私は当時7歳でした。

品川区御殿山の生家を建物疎開で強制的に撤去させられ、大田区久ヶ原に住む叔父の家に避難した時から私の戦争体験は始まります。久ヶ原は閑静な邸町ですが近くに高射砲陣地があったので、激しい空襲に見舞われました。昼夜を問わず B-29 が来襲しますので、着の身着のまま庭に掘った防空壕を出たり入ったりしていました。B-29 を迎撃する高射砲が撃たれるのですが、その音と地響きがすさまじく、眠れ

ぬ夜を過ごしていました。さらに怖かったのは、海から艦載機が低空飛行でやってきて、動いている人を直撃するのです。子どもの私は、道路脇の溝の中を這って逃げた記憶があります。

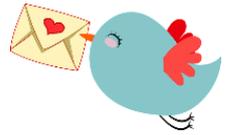
命の危険は空襲だけではありません。食べものがなく、いつもひもじい思いをしていました。近くの土手で、アカザやハコベ等の雑草を摘んで、みそ汁やお浸しにして空腹をしのぎました。水の様な雑炊の配給に鍋をもって並んだ事もあります。今のガザの子ども達と同じです。いよいよ命の危機が迫り、新潟県加茂市に疎開しました。加茂には空襲はありませんでしたが、米処にも米はなく、母は着物を持って農家に買出しに行っていました。

食べる物があり、夜は安心して眠れることが‘平和’ではないでしょうか。

世界の紛争地域に一刻も早く平和が訪れますことを切に願っております。

広橋泰子（目黒地域女性研究会代表・目黒ユネスコ協会会員）

写真：坂のある町で～地域で活動する女性たちのあゆみ～代表発行人



交流サロン 令和7年日本語教室の七夕フェスティバル



7月3日木曜クラス

“ささのは サラサラ のきばに・・・” さわやかな歌声が、学校サポートセンターのエントランスホールに響いた。ユネスコ日本語教室（朝コース）の学習者とサポート・ボランティア合わせておよそ30名のコーラスだ。

7月3日（木）、レッスン後 11:30 に集合し、それぞれが星への願いを書いた短冊を笹竹に、思い思いに飾り付けてから、それをバックに集合記念写真をパチリ。色とりどりの短冊を見ると、「日本語が上手になりたい」、「家族が健康に過ごせますように」、「戦争が早く終わりますように」などの願いごとが書かれていた。

そのあとは、仲良しグループで写真を撮り合うなど和やかな時間が過ぎていった。事前に七夕の由来や、「たなばたさま」（唱歌）の歌詞などの資料を配布して、クラスごとに、日本の習慣・文化行事でもある七夕の勉強や、歌の練習もしており、楽しい「七夕・フェスティバル」を体験することが出来た。なお、土曜クラスは7月5日（土）に開催した。日本語スタッフ 為季 繁



7月5日土曜クラス

♥発送連絡会（6回/年）からのお誘い&♥オリエンテーションのおすすめ！

発送連絡会では広報SNの発送作業を行っております。♥発送作業のボランティア会員募集中。発送作業は1時間程度で終わり、そのあと茶話会で、各担当者からの活動紹介や、ボランティアスタッフの募集など、意見交換会です。♥オリエンテーション：新入会員のご質問にも対応可能です。気楽にご参加ください。お待ちしております。 申込・問合せは事務局宮城まで。

『気仙沼観光復興ツアー』(めぐろ観光まちづくり協会主催)に参加

日時:2025年8月3・4日 場所:宮城県気仙沼市

『東日本大震災遺構・伝承館』は2011年3月11日に起きた東日本大震災での津波等で被災した『旧 宮城県気仙沼向洋高等学校』(現在は移転)を自然災害との向き合い方や防災を学べる施設として2019年3月10日に開館された。館内で見ただオでは、震災後に強く生きている方々の姿に涙が溢れた。語り部ツアーでは、津波は4階まで達し校内に残った人々は屋上まで避難し夜を明かしたこと、3階の教室に流れ着いたまま保存されている車の重さが1.5t あることなどを見聞きし、地震後の津波がいかに恐ろしいかを知った。同校は防災教育の成果として1人の犠牲者も出さなかった。

『気仙沼市復興祈念公園』は、東日本大震災の記憶を後世に伝え、未来の安寧を誰もが祈念することができる場所として2021年3月11日に開園された。港を見渡せる高台には、犠牲となった方々の名前を刻む銘板とモニュメント「祈りの帆(セイル)」があり追悼の気持ちを寄せることができる。私もセイル内に入り静かに祈った。

★目黒区と気仙沼市は2010年9月18日に友好都市協定を締結した。目黒ユネスコ協会とも交流があり『めぐろユネスコチャンネル』の気仙沼だよりや青少年フェスタでは、松圃寅舞(まつばたけとらまい)羽田神楽鶏舞(はたかぐらとりまい)馬籠ばやし(まごめばやし)崎浜大漁唄込(さきはまたいりょううたいこみ)などが紹介されている。

広報委員会 太田 優枝



語り部の三浦さん



ガイドの熊谷さん



祈りの帆/セイル

追記

東日本大震災復興支援 当時のこと

忘れもしない2011年8月26日、まだ気仙沼港の復興が遅々として進まない時期、相良会長を筆頭に宮下、望月が青年部5名(計8名)を朝6時から東北道を望月の車でひた走り、トイレ休憩もそこそこに12時半に気仙沼教育委員長表敬訪問、気仙沼ユネスコ協会の事務局長に港の案内をいただき、被災しなかった城南中学(校庭には仮設住宅が設置)に支援寄せ書きと海外から来たお見舞い状を手渡し交流、帰りは最後の青年を送る時には12時を回った強行軍だった。あの時の青年たちにはまだ臭いがきつかった港を見てその後の支援活動に力が入ったと感じた。2012年のめぐろサンマ祭りから2019年のコロナ前までの毎年2泊3日で7回に及ぶ気仙沼の各校児童を招聘し田道広場で伝統芸能を目黒区民に披露。並行して当協会会員の気仙沼支援訪問も続いた。

理事 望月 昇



爲季前会長を囲む会

2025年9月2日(火)12:00~14:00
中華飯店花壇 参加:18名 主催・有志の会

コロナ禍の2021年5月から、2025年5月まで4年間会長を務めた爲季前会長を囲む会が開かれた。当日は猛暑の中、現在活躍中の会員や日本語スタッフ OGなどが参加した。齊藤現会長の心のこもった感謝の言葉に続き、爲季前会長が目黒ユネスコでの17年間の熱い思いを語った。伊藤悠氏の乾杯の音頭の後会食。

和やかな雰囲気の中で、全員が短いスピーチで会場をさらに温かく盛り上げ、食事と会話を楽しんだ。最後に岩佐副会長が新役員としての抱負と今後のご指導を仰ぎ、お開きとなった。前会長は今後も理事、そして日本語スタッフとして目黒ユネスコに貢献される。 副会長 大前 真理子



▲目黒ユネスコ美術展 & ★青少年フェスタ

日時:11月19日(水)~24日(月)
 会場:目黒区美術館区民ギャラリー
 「アートで平和に貢献」を命題に今年も開催します。
 ★青少年フェスタ同時開催
 日時:11月23日・同会場

★ユネスコ国際交流ひろば日帰りバスツアー
「富士山を学ぼう」 区報:10/15

日時:11月14日(金)8:30~18:30
 集合:目黒川船入場公園
 行程:白糸の滝―昼食―富士山本宮浅間大社
 ―静岡県富士山世界遺産センター―
 定員:16歳以上の目黒区在住在勤者80名
 (応募多数の場合抽選)
 参加費:4,500円(昼食代・施設入場料含む)
 申込:往復はがき(1枚に1名)
 事業名・氏名・住所・電話番号・年齢明記。
 宛先:目黒ユネスコ協会
 締切:10月31日(金) *詳細チラシ参照

★サイエンス教室

第1回サイエンス教室『アクセルごまをつくろう』
 東京科学大学 Science Techno 出前授業
 ◇日時 11月15日(土) 14:00~16:00
 ◇場所 目黒区緑が丘文化会館 区報:11/1
 ◇対象・定員 小学3年から6年生 25名(先着順)
 ◇申込期間 11月1日(土)~13日(木)

第2回サイエンス教室『ロボットプログラミング』
 東京メトロ プログラボ目黒校 出前授業
 ◇日時 11月29日(土) 14:00~16:00
 ◇場所 目黒区緑が丘文化会館 区報:11/15
 ◇対象・定員 小学3年から6年生 25名(先着順)
 ◇申込期間 11月15日(土)~27日(木)
 ◇申込方法1・2:協会宛にメールまたはファクスで。

★ユネスコ文化講座①②

★文化講座①「書道のユネスコ無形文化遺産登録を目指して」11/30・講師:石川青邱氏 区報 11/1
 ★文化講座②「平山郁夫-仏教伝来と旅の軌跡」
 1/25・講師:大塚裕一氏 区報 12/15

9月以降の予定

- 9/2(火)為季前会長を囲む会
- ★&▲9/9(火)日本語教室
- 9/14(日)第2回理事会
- 9/17(水)発送連絡会
- 9/27(土)関東ブロック研究会(埼玉)
- ★10/1(水)中国語・英語 初級講座
- 10/18(土)全国大会(金沢)
- 自主語学教室6講座(仏・英・独・伊2・中)



■新入会員 どうぞよろしく (敬称略)
 ◇ 西尾 美香子 ◇ 藤原 薫

◇会員募集中◇ 趣旨に賛同される方の入会
 を歓迎いたします。問合せ:事務局(宮城)迄。

会員活動紹介 宮林謙次 展

けんじの世界「九品仏の一日-PART2」
 2025/10/10/(金)~10/26/(日)
 月、火、水曜日 休廊 12:00~18:00
 (最終日は午後5時まで)
 トバリエギャラリー(世田谷区奥沢 8-13-9)

編集後記 記録的猛暑だった戦後80年の夏も夜の虫の音とともに秋の気配を感じられる季節となった。日本赤十字の調査によると、終戦の日を知らないと回答した人が4人に1人になったとのこと。目黒区でも戦争を知る世代が住民の1%未満になるなど、戦争は遠い昔の事となりつつある。この夏、“空気”に動かされた姿を描く作品に出合った。一つは歌舞伎「野田番 研辰の討たれ」。物見遊山的な“空気”により流され仇討ちへと突き進んでいった江戸。もう一つは猪瀬直樹氏著の「昭和16年夏の敗戦」。社会に漂っていた“空気”により無謀な戦いへと踏み出していった昭和。歴史は繰り返しているようである。私たちもSNSなどに流されない心をしっかりと持ち、予期せぬ事態を招くことの無いようにしていきたいと感じた。 遠藤 裕子

